

# 令和8年度 星置中学校「学ぶ力」育成プログラム【様式例】

学校番号：37509

## 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇学校評価アンケートから、学習に対して「興味関心をもったり、意欲がわいたりする」に対して肯定的な回答が増加しており、興味関心をもって取り組める生徒が増えている実態がある。</p>
	<p>◇意欲をもち取り組める生徒が増えつつあるが、学習習慣の定着には課題が残る。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	<p>◇学校評価アンケートにおいて、「行事等の後にお互いの頑張りを認め合えることが多い」と回答する生徒は9割以上となっており、多数の生徒がお互いに認め合える関係性を構築している。今後も学活や総合的な学習の時間等を効果的に計画、運用することを目指す。</p> <p>◇協働的な学びが各々の学習の向上に寄与するためには安心して学ぶ学習環境が不可欠であり、子どもたち一人ひとりにとって「居場所」となり安心して自分らしさを発揮できる学級、学年、学校づくりが必要である。「子ども一人ひとりが『自分が大切にされている』と実感できる学習環境をつくること」、「『子どもの声を聴く』を大切にした教育」を目指す。</p>
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
	<p>互いに励まし合い、高め合える人間関係づくり 自主的、主体的に取り組む力を育む</p>
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>(1) 「子どもの声を聴く」授業づくりを通して、「<u>自分が大切にされている</u>」と実感できる授業づくり、学習環境の構築を目指す。</p> <p>(2) 生徒自身が<u>目標をもち、自分の学習の見通しをもてるような機会</u>をつくる。</p>
	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>①自治的な生徒会活動の充実 →「<u>目安箱</u>」の効果的な運用、<u>あいさつ運動の実施</u>等、生徒が主体的に学校生活や行事をつくる意識の向上に向けた取組を行う。</p> <p>②さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	<p>◇(1)や①について、Google forms を活用するなどし、一人ひとりの生徒の声を積極的に取り入れる工夫をする。</p>

<本プログラムの実行に向けて>

